



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月11日

上場会社名 浅香工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5962 URL <http://www.asaka-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 山木 信男

TEL 072-229-5137

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,330	3.8	99	16.5	112	13.0	74	13.8
2019年3月期第2四半期	4,174	3.8	85	20.5	99	20.6	65	24.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	77.17	
2019年3月期第2四半期	67.78	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	6,214	2,942	47.4	3,062.80
2019年3月期	6,246	2,941	47.1	3,061.79

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 2,942百万円 2019年3月期 2,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		30.00	30.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	6.8	140	0.8	150	4.4	93	11.7	96.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,037,080 株	2019年3月期	1,037,080 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	76,231 株	2019年3月期	76,213 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	960,855 株	2019年3月期2Q	960,972 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、所得や雇用情勢の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米中貿易摩擦や日韓関係の悪化など国外における地政学的リスクの拡大等の懸念材料も多く、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢下におきまして、当社は引き続き新規販路の開拓とその市場に合わせた製品開発、積極的な営業活動に努力してまいりましたが、主要販売先における農具、園芸用品類の売上が伸び悩みました。一方で、設備投資における物流機器類の売上が堅調に推移した結果、売上高は4,330百万円(前年同期4,174百万円)となりました。

利益面につきましては、コストの低減と諸経費の節減等に努めた結果、営業利益は99百万円(前年同期85百万円)、経常利益は112百万円(前年同期99百万円)、四半期純利益は74百万円(前年同期65百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(生活関連用品)

ショベル類につきましては、懸命の拡販策を展開しましたが、国内向け売上高は352百万円(対前年同期比19.1%減)となりました。輸出は、中央アフリカ等への販路はじめ他の諸外国への拡販に努力し、売上高は69百万円(対前年同期比12.7%増)となり、ショベル類全体の売上高は422百万円(対前年同期比15.2%減)となりました。

また、天候不順により主要販売先におけるアウトドア用品類、工事・農業用機器類の売上鈍化が大きく影響し、売上高は2,304百万円(対前年同期比6.1%減)となり、生活関連用品全体の売上高は2,726百万円(対前年同期比7.6%減)となりました。

(物流機器)

業界内における設備投資は、企業収益の改善を背景に緩やかながらも回復基調が続いており、拡販策の展開に努力した結果、売上高は1,604百万円(対前年同期比31.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 当第2四半期会計期間末における資産、負債、純資産の状況は、次のとおりであります。

なお、記載内容は前事業年度末と比較しております。

(資産)

流動資産は、41百万円増加し4,751百万円(前事業年度末は4,710百万円)となりました。これは主に電子記録債権が107百万円、商品及び製品が107百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が57百万円、受取手形及び売掛金が203百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、73百万円減少し1,463百万円(前事業年度末は1,536百万円)となりました。これは主に投資有価証券が70百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、31百万円減少し6,214百万円(前事業年度末は6,246百万円)となりました。

(負債)

流動負債は、9百万円減少し2,701百万円(前事業年度末は2,711百万円)となりました。これは主に支払手形及び買掛金が19百万円増加したものの、短期借入金が12百万円、賞与引当金が10百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、23百万円減少し570百万円(前事業年度末は593百万円)となりました。これは主に固定負債のその他に含まれている繰延税金負債が14百万円、退職給付引当金が9百万円それぞれ減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、32百万円減少し3,272百万円(前事業年度末は3,304百万円)となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末とほぼ同額の2,942百万円(前事業年度末は2,941百万円)となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が43百万円減少したものの、利益剰余金が45百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べて63百万円増加し、741百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、123百万円(前年同期は53百万円の収入)となりました。これは主に売上債権の増加額が118百万円となったものの、税引前四半期純利益とたな卸資産の減少額の合計が212百万円となったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、19百万円(前年同期は1百万円未満の支出)となりました。これは主に保険積立金の払戻による収入が26百万円となったものの、有形固定資産の取得による支出が43百万円となったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、39百万円(前年同期は41百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払額28百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月13日の決算短信で発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	768,377	826,081
受取手形及び売掛金	1,207,514	1,410,771
電子記録債権	1,098,302	991,104
商品及び製品	1,316,580	1,209,345
仕掛品	48,590	53,370
原材料及び貯蔵品	138,074	139,906
未収入金	63,280	72,726
その他	70,624	49,469
貸倒引当金	△1,200	△1,300
流動資産合計	4,710,144	4,751,474
固定資産		
有形固定資産	300,376	301,164
無形固定資産	35,453	22,438
投資その他の資産		
投資有価証券	920,351	850,337
その他	281,059	290,011
貸倒引当金	△465	△465
投資その他の資産合計	1,200,945	1,139,883
固定資産合計	1,536,774	1,463,487
資産合計	6,246,918	6,214,961
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,755,654	1,775,009
短期借入金	627,448	615,204
未払法人税等	46,117	42,115
賞与引当金	68,100	58,100
その他	214,214	211,394
流動負債合計	2,711,534	2,701,824
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	71,284	72,304
退職給付引当金	132,500	122,700
その他	89,627	75,249
固定負債合計	593,411	570,253
負債合計	3,304,946	3,272,077

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,600	829,600
資本剰余金	509,408	509,408
利益剰余金	1,338,544	1,383,868
自己株式	△86,714	△86,747
株主資本合計	2,590,837	2,636,129
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	339,780	296,616
繰延ヘッジ損益	11,354	10,137
評価・換算差額等合計	351,135	306,754
純資産合計	2,941,972	2,942,884
負債純資産合計	6,246,918	6,214,961

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,174,026	4,330,915
売上原価	3,161,563	3,306,879
売上総利益	1,012,462	1,024,035
販売費及び一般管理費	926,830	924,310
営業利益	85,631	99,724
営業外収益		
受取配当金	15,758	11,509
受取保険金	218	6,186
その他	8,069	6,287
営業外収益合計	24,045	23,983
営業外費用		
支払利息	5,135	4,451
手形売却損	2,139	2,038
電子記録債権売却損	1,104	1,024
その他	1,888	3,853
営業外費用合計	10,268	11,368
経常利益	99,408	112,340
税引前四半期純利益	99,408	112,340
法人税、住民税及び事業税	27,000	33,000
法人税等調整額	7,277	5,189
法人税等合計	34,277	38,189
四半期純利益	65,131	74,150

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	99,408	112,340
減価償却費	39,668	38,981
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,900	△9,800
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,100	△10,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	100
受取利息及び受取配当金	△16,057	△11,781
支払利息	5,135	4,451
受取保険金	△218	△6,186
売上債権の増減額 (△は増加)	△38,185	△118,818
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△89,899	100,623
仕入債務の増減額 (△は減少)	129,069	26,400
その他	△33,824	26,530
小計	76,096	152,840
利息及び配当金の受取額	16,058	11,781
利息の支払額	△5,207	△4,574
法人税等の支払額	△33,856	△36,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,091	123,394
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,000	△16,000
定期預金の払戻による収入	22,000	22,000
投資有価証券の取得による支出	△13,116	△2,943
投資有価証券の売却による収入	23,136	11,211
有形固定資産の取得による支出	△19,038	△43,221
無形固定資産の取得による支出	△2,659	△1,394
保険積立金の積立による支出	△11,810	△10,605
保険積立金の払戻による収入	25,355	26,210
その他	△8,081	△5,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214	△19,799
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△62,484	△61,224
自己株式の取得による支出	—	△32
配当金の支払額	△28,547	△28,635
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41,031	△39,891
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,844	63,703
現金及び現金同等物の期首残高	759,422	678,104
現金及び現金同等物の四半期末残高	771,267	741,807

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(売上高内訳)

(千円未満切捨)

期 別 品 種 別			前第2四半期累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年 9月 30日)			当第2四半期累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月 30日)			増 減	
			金 額	構 成 比		金 額	構 成 比		金 額	率
			千円	%	%	千円	%	%	千円	%
生 活 関 連 用 品	シ ョ ベ ル 類	国 内	436,156	87.7		352,964	83.6		△83,191	△19.1
		輸 出	61,425	12.3		69,225	16.4		7,800	12.7
		小 計	497,581	100.0	11.9	422,190	100.0	9.7	△75,390	△15.2
	農 業 用 機 器 類	国 内	2,435,678	99.2		2,288,539	99.3		△147,138	△6.0
		輸 出	18,715	0.8		15,974	0.7		△2,741	△14.6
		小 計	2,454,393	100.0	58.8	2,304,513	100.0	53.3	△149,879	△6.1
	小 計	国 内	2,871,834	97.3		2,641,504	96.9		△230,330	△8.0
		輸 出	80,140	2.7		85,200	3.1		5,059	6.3
		小 計	2,951,975	100.0	70.7	2,726,704	100.0	63.0	△225,270	△7.6
物 流 機 器	国 内	1,222,051	100.0		1,604,210	100.0		382,159	31.3	
	輸 出	—	—		—	—		—	—	
	小 計	1,222,051	100.0	29.3	1,604,210	100.0	37.0	382,159	31.3	
合 計	国 内	4,093,885	98.1		4,245,714	98.0		151,829	3.7	
	輸 出	80,140	1.9		85,200	2.0		5,059	6.3	
	合 計	4,174,026	100.0	100.0	4,330,915	100.0	100.0	156,888	3.8	